



鳴く虫と郷町 関連企画

虫の音  
ボヴェ太郎 舞踊公演

2023年9月8日[金]  
東りいたみホール 4階 大和室  
構成・振付・出演：ボヴェ太郎

伊丹郷町界隈で、竹の虫籠や壺に入った「鳴く虫」の音色を楽しむ企画「鳴く虫と郷町」。

この企画のひとつとして、空間と身体の呼応をコンセプトに創作を行う舞踊家ボヴェ太郎による公演を開催いたします。籠に入れた虫の音を室内で愛でる習慣は、古くは源氏物語にも描かれるなど、日本の秋を楽しむ文化として大切にされてきました。和室の親密な空間を舞台に、鈴虫や松虫が奏でる豊かな響きに誘われ、紡がれてゆく一期一会の舞。虫の音と舞の呼応が綾なす繊細なひと時にご期待ください。

虫の音  
ボヴェ太郎 舞踊公演



## 2023年9月8日[金]

19:00開演(18:30開場)

構成・振付・出演:ボヴェ太郎

### 料金

前売・当日 2,500円(税込)

※整理番号付き自由席(当日18時より受付開始)

※座りやすい服装でお越し下さい(椅子席も数席ございます)

※未就学児童の入場はご遠慮下さい

### 発売日

2023年6月30日[金] 9:00-

### チケット取扱

◎窓口販売・電話予約

東リ いたみホール Tel: 072-778-8788

◎メール予約:Taro BOVE Dance事務局

E-mail: tarobove.office@gmail.com

件名に「虫の音チケット予約申込」と明記し

本文に以下の内容を記入の上ご送信下さい

お名前(フリガナ)／チケット枚数／メールアドレス

※予約チケットは公演当日に会場受付にて現金引換となります

ボヴェ太郎 Taro BOVE

<http://tarobove.com>

舞踊家・振付家。空間の〈ゆらぎ〉を知覚し、感応してゆく「聴く」身体をコンセプトに、歴史的建造物や庭園、美術館等、様々な空間で創作を行なっている。

主な作品に、『不在の痕跡』、『余白の辺縁』、『百代の過客』、『CONATUS』等がある。能楽との共演作品に、『消息の風景—能《杜若》—』、『Reflection—能《井筒》—』、『縹渺の露—能《野宮》—』、『寂寥の薫—能《楊貴妃》—』等。

劇場作品の他、『微か』(世田谷美術館)、「カンディンスキーエン」(京都国立近代美術館)における公演、西ジャワの古典歌舞トゥンパン・スンダとの共演等。出演作に藤枝守作曲『ガムラン曼荼羅』等がある。

### 主催

公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団、伊丹市  
鑑賞de寄っ Tok! itami 対象公演

### お問合せ

東リ いたみホール(伊丹市立文化会館)

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前1-1-3

Tel: 072-778-8788(受付9:00~21:30)

※電話番号をお間違えないようご注意ください

休館日:火曜日(祝休日の場合は翌平日休館)

<https://itami-cs.or.jp/itamihall>

・阪急「伊丹駅」より北へ徒歩約3分・JR伊丹駅より西へ徒歩約8分

